

ついにかちとった輝く栄冠

きびしい試練の
積み重ねの上に



▲解団式の後、選手たちは、勝利を喜びあい、斎藤旗手のかける
県旗の下では、鈴木団長の体が二度、三度、宙に舞った。



▲総合優勝の皮きりはラクビー、重戦車とよばれる果敢な
攻撃は見事だった。(一般決勝・対全東京後半の接戦)

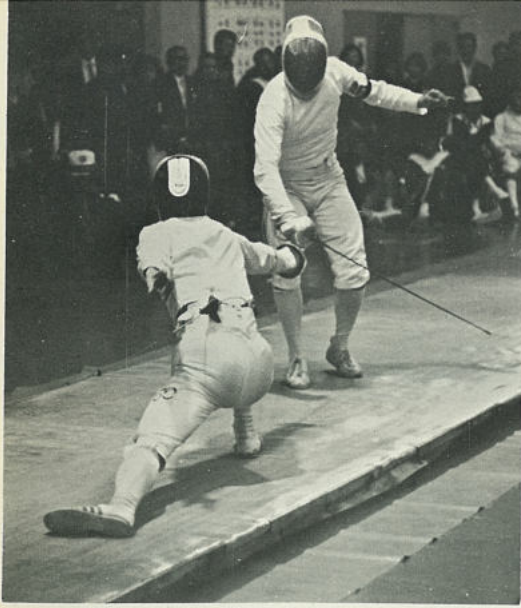
荒天を予想して雨具持参で開会式にの
そんだ誰もが、しだいに晴れ上ってゆく
青空をみてこどどりして喜こんだ。メイ
ンイベント、開会式の成功につづいて、
日を追って伝えられる県勢の、予想をは
るかに上まわる大活躍。大会五日目、天
皇杯獲得決定の場内アナウンスに、競技
場は興奮の渦にわきかえった。そして最
終日、閉会式で各県選手の去った県宮陸
上競技場の岩手県選手団解団式では、き
びしかった試練の道程のはてにかちえた
栄光が萬感胸にせまり、誰も、あふれ出
る涙をこらえることはできなかった。



▲軟式野球も準硬式部門の活躍で総合優勝を
かちとった。(一般軟式一回戦対滋賀一回
裏無死満塁の好機に2塁打した梅沢選手)



▲相撲も各種別で上位に入賞し、総合優
勝をかちとった。優勝(トロフィーをか
ざしてよろこぶ青年部門の選手たち)



▲なじみのうすかったフェンシングも努力が稔って男女総合7位を獲得。(一般男子エペ対愛媛戦でポイントを重ねる伊勢選手)



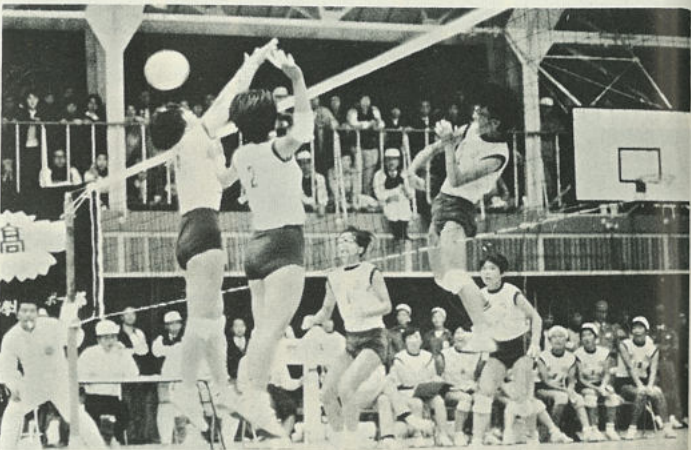
▲当初の懸念をふきとばして体操競技は男女総合4位を獲得。(高校男子団体で3位にくいこんだ盛岡農高チーム)



▲サッカーは教員、一般が善戦、よく総合2位をかちとった。(教員対愛媛戦後半、11番似内ゴールを襲う)



▲バスケットボールは高校男子が奮戦し3回戦に勝ち進んだが、力の差が大きかった。



▲バレーボールは鍛えぬかれた根性を発揮、高校女子で高田校よく3位にくいこんだ。(好セッター嶋村のスパイクがさえた対茨城戦)

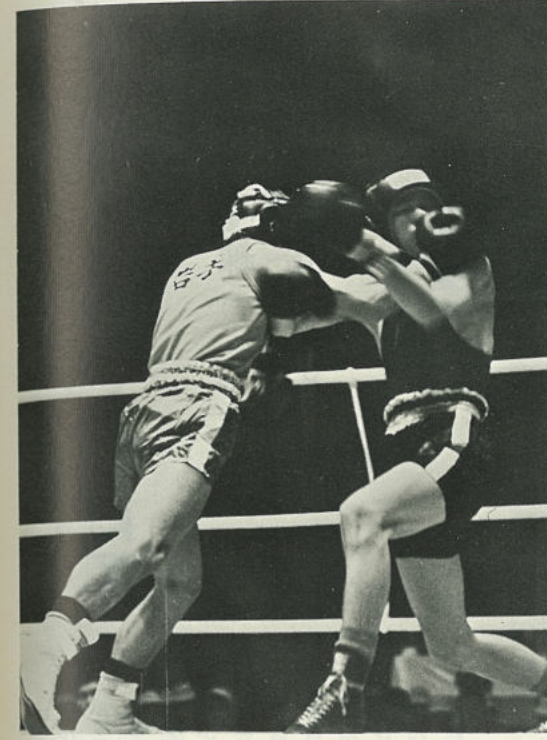


▲剣道は教員、高校勢の活躍で総合6位をかちとった。(一般決勝大将戦は二刀流宮城、宣場選手の太刀さばきが注目をあびた)

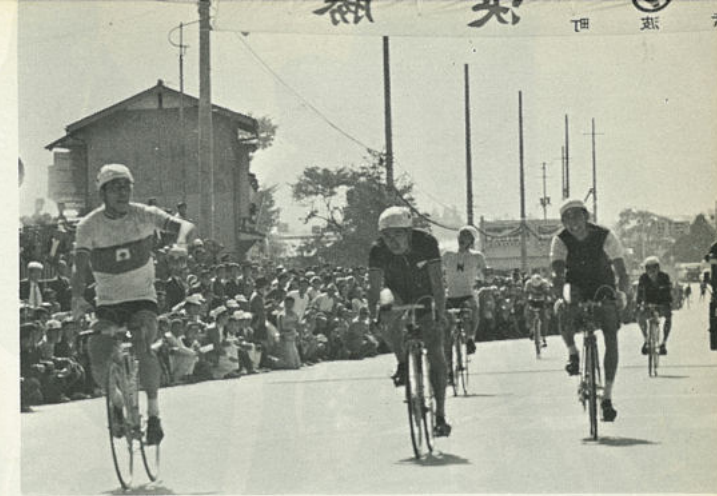


▶ハンドボールも奮戦、男女総合3位入賞を果たした。(一般男子対鹿児島戦前半、ポイントゲッター上川シュート)

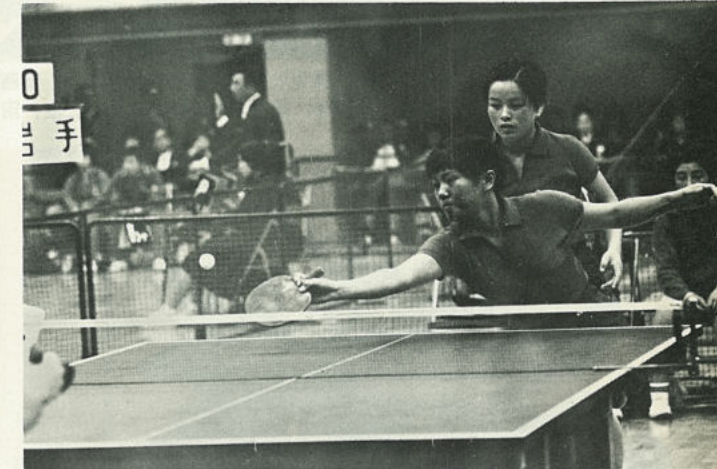
▼圧倒的な強味を発揮した高校チームを軸にボクシングも総合優勝。(準決勝対東京戦でバンタム級出場の玉沢選手(左))



▼陸上競技は砲丸二種目優勝など投てき陣の活躍で例年になく活気あふれた。(教員砲丸14.82mの大会新記録で優勝の藤井選手)



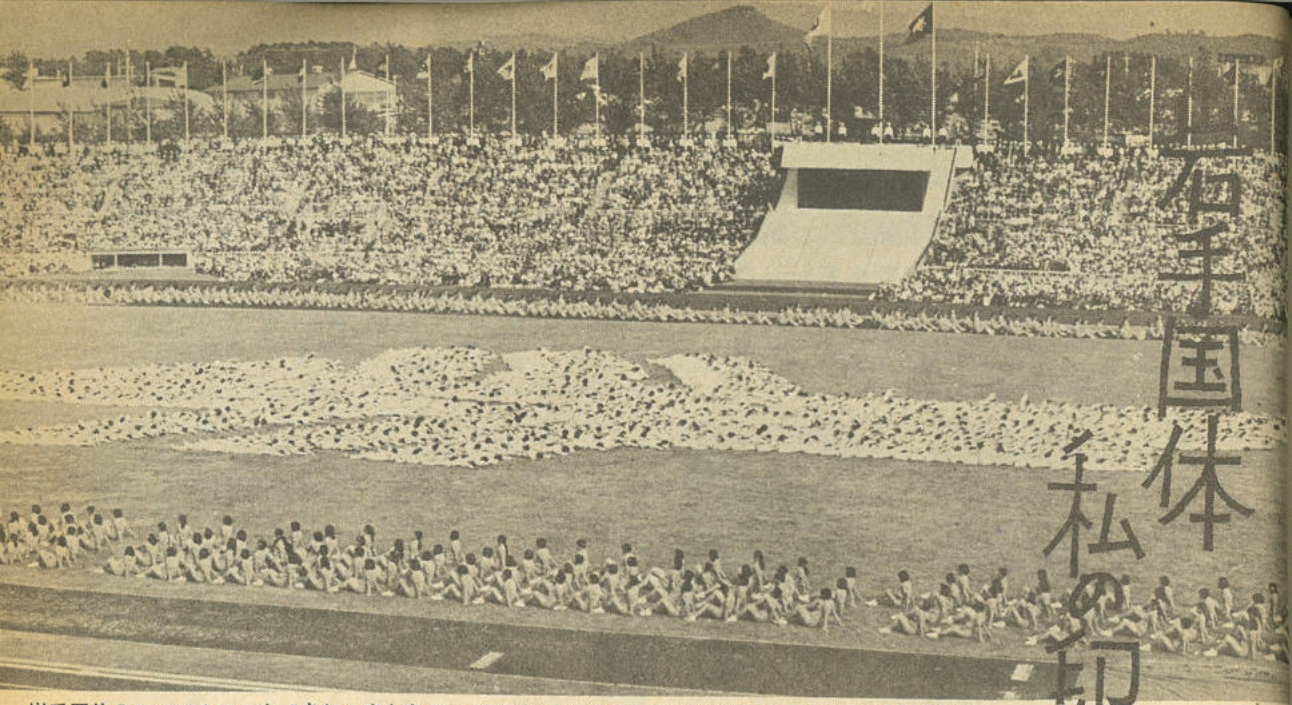
▲執のようなマークをふり切って自転車も総合優勝。(一般ロード3位でゴールインする阿部正人選手、右端)



▲一般男女軟式の大健闘を筆頭に各種別とも活躍、男女総合優勝と女子総合優勝をかちとった。(高校女子ダブルス対秋田戦の佐藤(前)と枝野選手)



▲女子軍の奮闘を軸に弓道も男女総合優勝と女子総合優勝を獲得(チームワークよく近的優勝、遠的2位をかちとった菅原・高橋・大崎トリオ)



全日本国体 私の印象

岩手国体のシンボルマーク「きじ」をかたどった中学生集団演技、明日の飛躍を象徴するかのようだ。

県民待望の天皇杯を獲得できて全くうれし。第二十五回国民体育大会誘致運動を開始して以来の多くの労苦がいまここに結実し感無量のものがある。

この輝く勝利は選手、役員、関係者の努力と県民の強い支援のたまもので感謝にたえない。

誠実、明朗、躍進をかかげて岩手国体の特色を発揮するようつとめてきたが、ここに「総合優勝」という有終の美を収めて大会を終了できたことは、百四十万県民の意気を高め、それが



岩手県知事
千田 正

岩手の発展を 約束するもの

県民ひとりひとりが待ち望み、せいっぱいの努力をかたむけてかちとった岩手国体の栄光。それはまた多くの人々の心に投影し、新たな飛躍の糧となることだろう。本号は、さまざまな立場で国体に参加支援した人々の印象を語ってもらう中から、国体の成果をふりかえってみることにした。

県のかねて打ち出している「大県構想」に結びつき今後の岩手の飛躍的な発展を約束づけるものと確信している。

私は、岩手こそ開発可能性を秘めた国内随一の県と思っており、この国体に示した百四十万県民の力を開発に向けるなら、輝かしい岩手が必ず実現すると信じている。

民泊の宿でごちそうしてくれたチャンコ鍋の味が忘れられませぬ。山の幸をいっばいにいれた岩手の味は、わたし達の食欲を一そうそそってスタミナがつき、相撲の成績も上々でしたよ。

選手呼出しのアナウンスでは「沖繩県」と呼んでいたが、本土とのへだたりが感じられず、ただただ感激しましたね。

私たちに 貴重な経験



忘れられない
チャンコ鍋
相撲競技に
出場した
長浜吉純さん
(沖繩・33)

テレくさそうに高校生が道であいさつをしてくれた。子供も年寄りも、わたし達に声をかけこれこそ明朗国体だと肌で感じましたね。国体食にとらわれず、

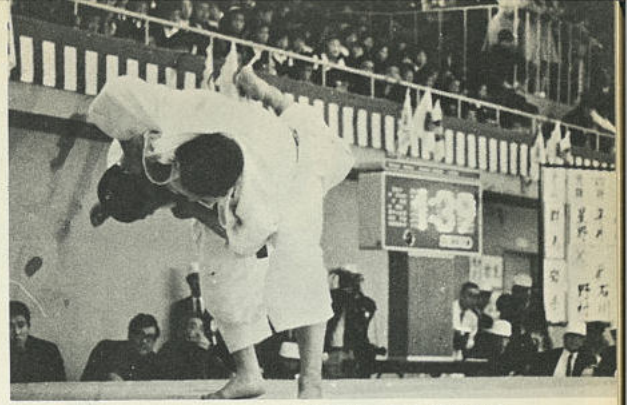


野点で選手を
ねぎらった真
千家の先生
樋口宗晃さ
ん(水沢市)

十一日から毎日、十五、六人のお嬢さんがたに出ていただいとお茶をさしあげています。一日、二百五十人位の役員選手の方々に飲んでいただいています



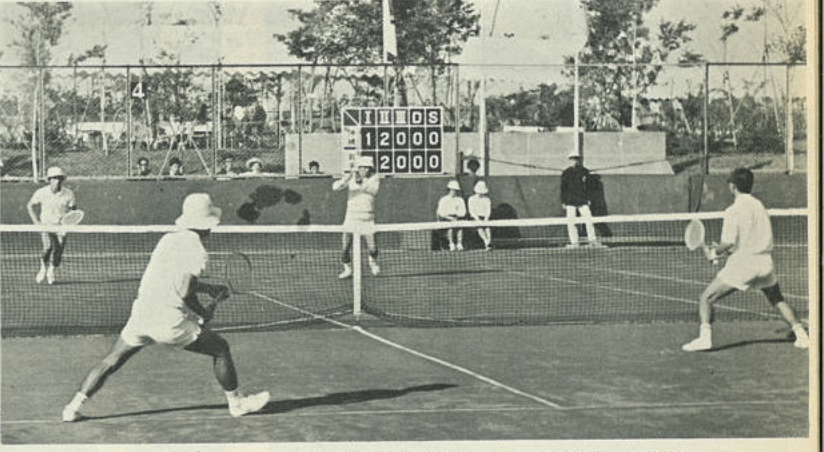
▲公開種目の山岳で県勢は、一般・高校とも優秀チームに選ばれた(後続のA隊に見送られて早池峯、岳基地を出発するB隊)



▲柔道は一般と高校がともに5位に食いこんだ。



▲ウエイトリフティングは一般バンタム級の優勝など入賞者が多かったにもかかわらず選手層の薄さから天皇杯得点に至らなかったのは惜しまれた。



▲選手層の薄いテニスも奮戦、男女総合8位入賞を果たした。(対沖繩戦でストレート勝ちした一般男子三村・菊池組)



▼岩手県選手団の解団式。輝く賜杯を手にした今野選手や藤原総監督・鈴木団長らの目がしらは、苦難の末の栄光にキラリ、光るものがあった。